

令和 4年度予算見積調書

課室名：義務教育指導課

担当名：学力調査担当、学びの改革担当

内線：6779

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B58	AIを活用した学びの実践研究事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容研究推進費		
事業期間	令和元年度～ 令和4年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4, 17
					分野施策	0501 確かな学力と自立する力の育成	SDGsターゲット	4-1, 4-6, 17-17	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>新学習指導要領では、児童生徒や学校の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充実を図ることが求められている。埼玉県学力・学習状況調査の結果をはじめ、小・中学校で得られる様々なデータとAI(人工知能)を活用して、よりきめ細かい個に応じた指導の実現を目指す。</p> <p>(1) AIを活用した学びの実践研究事業 23,839千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア AIを活用した学びの実践研究事業 23,839千円</p> <p>(イ) 県学力・学習状況調査のAIによる分析 既に蓄積されているビッグデータである埼玉県学力・学習状況調査の教科に関する調査データや質問紙調査のデータを組み合わせて、AIによる分析を行う。</p> <p>(ウ) 個に応じた指導の実践研究 AIによる分析結果を活用し、児童生徒一人一人の学力や学習状況などに応じた個別アドバイスシート、学級別アドバイスシート、個別学習教材の作成を行う。 また、モデル校において、作成したアドバイスシートなどを活用して個に応じた指導の実践研究を行う。</p> <p>(2) 事業計画 令和元年度～ 県学力・学習状況調査結果データのAI分析 分析結果を活用した成果物作成のためのシステム構築、モデル校での実践研究</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア AIを活用した個に応じた指導の実現に向けて、必要となるデータや課題などの抽出。 イ 児童生徒個々の学習理解度に応じた適切な指導方法や教材などの提示。 ウ 個に応じた指導(生活指導・学習指導)の実現による児童生徒の学力向上などの支援。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	23,839	国庫支出金						23,839	△17,000
前年額	40,839	17,000						23,839	